



教授就任あいさつ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 高原 幹



このたび、2024年1月1日付けで、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座の教授を拝命いたしました高原幹と申します。私は北海道足寄郡足寄町の生まれで、函館ラ・サール高校を卒業後、1994年に旭川医科大学を16期生として卒業させていただきました。その後、本講座に入局し、先代の海野徳二教授、原淵保明教授をはじめ、多くの先輩や後輩、スタッフの暖かいご指導のもと、色々な経験を積ませて頂きました。その教えは現在の私の血肉となっており、今の私があるのも皆様のおかげと日々感謝しております。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科は文字通り、耳、鼻、口腔、咽頭、喉頭、頭頸部の広大な領域を対象としております。それらの領域は、聴覚、平衡、嗅覚、味覚、発声、嚥下など生命の維持や質の保持に必要な多くの機能を担っております。当科では人工内耳手術、頭頸部遊離

再建手術などの手術以外にも、内視鏡下耳科手術、内視鏡補助下甲状腺手術、内視鏡下唾石手術など先端的治療も行っており、機能維持、機能再建に努めております。また、研究では、頭頸部癌の免疫学的解析を精力的に行っており、将来的に臨床応用可能な知見を数多く得ております。扁桃病巣疾患に関する基礎的、臨床的研究は当科の命題として継続し、国際的にもトップレベルにあると自負しております。

当教室は年齢的に若いスタッフで構成されていますが、私が自慢できるやる気のある優秀なスタッフが揃っております。彼らとともに、臨床と研究にアクティビティーの高い、熱い情熱と誠意に満ちあふれた教室運営を行って参ります。今後とも、我々耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座へご指導・ご鞭撻を賜れますよう、何卒よろしくご厚意申し上げます。